

27年10月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年 10月1日～ 27年10月10日

2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は9社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/10月	11月	12月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 12.5	△ 12.5	△ 12.5
	マツ	△ 37.5	△ 37.5	△ 37.5
	広葉樹	△ 27.8	△ 27.8	△ 33.3
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 6.3	0.0	△ 6.3
	マツ	△ 37.5	△ 37.5	△ 37.5
	広葉樹	△ 16.7	△ 27.8	△ 27.8
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 18.8	△ 31.3	△ 25.0
	マツ	△ 37.5	△ 50.0	△ 43.8
	広葉樹	△ 55.6	△ 38.9	△ 44.4

・チップ用国産原木の入荷は、3ヵ月連続して減少。

・チップ用国産原木の消費は、スギ・ヒノキの11月の横ばいを除いて、3ヵ月連続して減少。

・チップ用国産原木の在庫は、3ヵ月連続して減少。

(2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/10月	11月	12月
スギ・ヒノキ	12.5	6.3	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	18.8	12.5	12.5

・スギ・ヒノキのチップ用原木価格は10月、11月のやや強含みが、12月は横ばい。マツ類は3ヵ月連続して横ばい。広葉樹は強含み。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・変動なし（中国）。
・伐採時期も良くなり、原木不足で素材単価は若干ではあるが値上がりして、チップ原木の入荷は増加期待。バイオマス、製紙、ボードメーカーとしてもチップの必要性はあるので、原木増にて消費も増加見通し。在庫は入荷すぐ払い出しにて減少（四国）。
・針葉樹は伐採の時期にもなり、国有林、民有林ともに順調に入荷すると予想。広葉樹は先月が台風被害木の入荷が多いため、ここにきて一段落と農家の稲刈りの時期になり、伐採は一時的に止まると予想。消費は針葉樹、広葉樹ともに製紙用の増産依頼でフル稼働中。消費はしばらくの間高い水準で横ばいと予想。発電用は一定の量のみ生産計画どおり。チップ生産もフル稼働で入荷も順調。但し、発電用の間伐材等の高値の材は他の地域へ流れる材があるが、製紙用の需要が強く、手の出せない価格。広葉樹は休止中の在庫分を減らすようにしている（九州）。
・仕入は、スギ、広葉樹ともに低調に推移。広葉樹は仕入状況に応じて消費（九州）。

(原木価格)

・木質バイオマスの影響もあり、チップ用原木輸入価格も上昇気みである。買い取り価格を上げないと材が集まらない（関東）。
・変動なし（中国）。
・変動なし（四国）。
・発電用の原木価格に引きずられている形で製紙用原木も上がっていかざるを得ない。広葉樹もチップの需要が強いため少し割高になっても集荷している（九州）。
・現状維持（九州）。

27年10月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/10月	11月	12月
生産 動向	スギ・ヒノキ	△ 6.3	△ 6.3	△ 12.5
	マツ類	△ 31.3	△ 31.3	△ 31.3
	広葉樹	△ 16.7	△ 22.2	△ 33.3
出荷 動向	スギ・ヒノキ	△ 12.5	△ 6.3	△ 6.3
	マツ類	△ 18.8	△ 25.0	△ 25.0
	広葉樹	△ 11.1	△ 16.7	△ 22.2
在庫 動向	スギ・ヒノキ	△ 42.9	△ 21.4	△ 21.4
	マツ類	△ 50.0	△ 50.0	△ 42.9
	広葉樹	△ 37.5	△ 43.8	△ 43.8

・木材チップの生産、出荷及び在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	27/10月	11月	12月
スギ・ヒノキ類	12.5	0.0	0.0
マツ類	6.3	0.0	0.0
広葉樹	5.6	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は全品目で、10月のやや強含みが、11月、12月は横ばい。

モニターからのコメント

(木材チップ荷動き)

- ・変動なし(中国)。
- ・原木入荷増を見通して生産増。燃料、製紙用等も原木入荷が増えれば出荷増。在庫は燃料用やや減少、製紙、ボード用減少(四国)。
- ・生産、出荷は、針葉樹、広葉樹ともに製紙用はフル稼働。燃料用は計画通りの数量出荷(九州)。
- ・広葉樹は、原木の入荷状況に応じた生産。計画数量に伴う出荷(九州)。

(木材チップ価格)

- ・製紙会社に対してチップの出荷価格の値上げ交渉中である(関東)。
- ・変動なし(中国)。
- ・値上げ交渉中(四国)。
- ・スギ、ヒノキの原木高に対応するため少しずつチップ価格の見直しをしてもらっている。広葉樹は変化なし(九州)。
- ・現状維持(九州)。